



代表質問

至誠会
廣部

真造 議員

能登半島地震から教訓とすべき事柄について

問 防災計画に基づく対応マニュアルは、主要交通網が寸断された場合を想定したものか。

能登半島地震の現状から、主要道路網が寸断された場合を想定した対応マニュアルが必要であると考えます。また、会派の視察研修で熊本県を訪れたが、熊本地震と人吉市の豪雨災害の教訓から、応援・受援体制の実効性を高めるためにも、被災地へ派遣された職員からの情報を共有すべきであると考えます。



引用：(一財) 消防防災科学センター「災害写真データベース」

答 市長

本市の地域防災計画は、平成26年3月に県が策定された「滋賀県地震被害想定」による建物被害や人的被害の規模

あるいは停電率や断水率などを前提に、災害時の応急対策をまとめたものです。県の被害想定は、主要幹線道路がどの場所で寸断するかといったような具体的な事象を想定しているものではありません。今回の能登半島地震では、主要道路の寸断により救助や支援活動に支障を来したことや、住家被害と断水が長期化し、高齢の被災者が多いことなどから、避難環境を改善するためには広域避難の対応が行われるなど、今後の防災対策

問 広域避難所となる各中学校体育館に非常用電源と空調設備を直ちに設置すべきであると考えますがどうか

答 極めて貴重なご提案であり、是非とも前向きに検討してまいります



引用：(一財) 消防防災科学センター「災害写真データベース」

に数多くの課題や教訓を与える結果となっております。こうした課題を踏まえ、国や県との整合を図りながら、速やかに関連する計画等の見直しを進める必要があると考えています。また同時に、被災時には本市だけのマンパワーや物資調